fNIRSデータ解析2

復習 課題1: MyModule0701

- def row2list (dF):
 - dFはデータフレーム
 - list a を作る
 - dFの各列を Series として抜き出す
 - list aにappend する
 - a を返す
- Main文
 - nirsのデータを読み込む
 - シートをdFとして読み込む
 - row2listにdfを渡してlistを取得
 - listの各要素がseriesであることを確認

復習 課題2: MyModule0702

- def extractRow (s1, n1, n2):
 - s1(\$Series
 - s1のn1行目からn2個のデータを抜き出す
 - 抜き出したデータをs2とする
 - s2(\$Series
 - s2 を返す
- Main文
 - nirsのデータを読み込む
 - シートをdFとして読み込む
 - row2listにdfを渡してlistを取得
 - listの一つの要素を抜き出して s1
 - extractRow2list(s1, 10,20)
 - 返ってきたデータをs2とする
 - s2がseriesであることを確認
 - s2を表示

- NIRS.xlsx はfNIRSデータ
- 1サンプル 0.1秒
- CH01 ~ CH24
- 1500~2500がタスク区間

課題1:メイン文

- main分にて下記の範囲のデータを抜き出す
 - nirs.xlsxを読み込む
 - データを抜き出す
 - TIME=1500~2499
 - TIME, CH01~CH24

- ch01[1500:2499]~ch24[1500:2499]のSeries を要素とするリスト a を作成する。
- aを使ってデータフレームdfを作成する

課題2: MyModule0702

- 関数 getCorr(s1, s2)
 - Series s1とs2の相関係数を求めて返す

- main文
 - 標準入力でチャンネルを選択する 1~24 = chN
 - chNとの相関値をすべて求めて表示

バイナリファイルの作成と読み込み

- エクセル形式のファイルの読み込みは遅い。
- 何度も、同じエクセルにアクセスるのであれば、一度 読み込んで、バイナリファイルを作成、それを読み込む。
 - この方が早い

いろいろな方法があるが、ここではpicle モジュールを使う

pickle モジュール

- オブジェクトデータ構造を直列化 (serialize) したり非直列化 (de-serialize) する
- オブジェクトをそのまま、外部に保存して、読み込むことができる。
- ・ 使うのは
 - ファイルオブジェクトの open とclose
 - pickeオブジェクトのdumpとload

プログラム例

```
import pandas as pd
import pickle
book = pd.ExcelFile("nirs.xlsx")
sheet1=book.parse("01")
sheet2=sheet1.ix[500:2500, 0:25]
f = open('list.txt','wb')
pickle.dump(sheet2,f)
f.close
f = open("list.txt",'rb')
l = pickle.load(f)
f.close()
print(l)
```

課題3 メイン文

課題1で抜き出したdataframe をpickleでファイルに書き出す

課題3で書き出されたファイルをpickleで読み 出す。

• 横軸時間、CH01~CH24 の図をsub plotを使って記述

• 各チャンネルにおいて

- 各チャンネルの信号値の平均値 vAverage を求める。
- vAverage=0 となるように平行移動する。

描画する

・課題5で作成したデータを新たな dataframe 構造にして pickle で外部に出力する

- 課題6で作成したデータを対象とする
- 各チャンネルにおいて

最大値 vMaxを求める

vAverage =0.0、vMAx=1.0 になるようにデータを線形変換する

・課題7で作成したデータを新たな dataframe 構造にして pickle で外部に出力する

宿題

- ・ 次の項目を調べる
- 平均
- 分散
- 標準偏差
- 正規分布
- t検定
- ANOVA
- ・ 正規分布の検定
- ・ 正規分布に分布が沿わない場合のt検定